

関係機関の長 殿

信州大学医学部附属病院長
川 真 田 樹 人 (公印省略)

臨床検査部技師長の公募について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当院臨床検査部では下記のとおり技師長を募集することになりました。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴施設並びに関係方面に適任者がおられましたら、御推薦くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 所属・職名 臨床検査部 技師長 1名
2. 採用予定日 令和5年4月1日付を予定
3. 応募資格 以下の全ての条件を満たす者
 - 1) 臨床検査技師としての実務経験が、15年以上ある者
 - 2) 2ヶ所以上の病院検査部あるいは検査領域を経験している者
 - 3) 博士以上の学位を有するか、それと同等以上と判断される豊かな見識を持つ者
4. 提出書類
 - ・推薦書 (様式自由, A4版) 1部
 - ・履歴書 (別紙様式1, A4版両面印刷) 1部
 - ・業績目録 (別紙様式2, 記載要領参照, A4版) 1部
 - ※著書, 論文, 学会発表等についてそれぞれ主たるもの10編以内。
 - ・「臨床検査部技師長としての抱負」と題して1,000字以内にまとめたもの 1部
5. 書類提出期限 令和5年1月19日 (木) 必着
6. 選考方法 一次選考: 書類選考, 二次選考: 面接
7. 二次選考(面接) 日程・会場等については後日ご連絡します。
8. 問い合わせ・書類提出先

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学医学部附属病院総務課人事係

TEL 0263-37-2741 (直通), FAX 0263-37-3024

郵送の場合は簡易書留とし、封筒の表面に「臨床検査部技師長応募書類在中」と朱書きのこと。

履 歴 書

| | | |
|---------------|---------------|---------|
| ふりがな | | 性 別 |
| 氏 名 | | |
| 生年月日 (年 齢) | 昭和 年 月 日 (歳) | |
| 現住所 | 〒 | |
| 電話番号 | 自宅 : | 携帯 : |
| 連絡先 | 勤務先: | E-mail: |

| |
|--|
| 写真貼付欄 (縦5cm×横4cm) (6ヶ月以内に撮影したもの) |
|--|

学 歴

| 年 月 日 | 学校・学部・学科等名 (高等学校卒業から記載すること) |
|-------|-----------------------------|
| | |

職 歴

| 年 月 日 | 機関名・職名等 |
|-------|---------|
| | |

免許、資格及び学位

| 取得・登録年月日 | 免許・資格等の名称（業務に関係のあるもののみ記載すること） |
|----------|-------------------------------|
| | |

研 修 歴

| 年 月 日 | 名称・主催団体名（日付順に記載すること） |
|-------|----------------------|
| | |

所属学会及び役職歴

| 年 月 日 | 学会名・役職名（日付順に記載すること） |
|-------|---------------------|
| | |

賞 罰

| 年 月 日 | 事 項（日付順に記載すること） |
|-------|-----------------|
| | |

令和 年 月 日

上記のとおり相違ありません。

（署名・捺印）

印

業 績 目 録

著書, 原著, 症例報告, 総説, letter (或いはletter to the editor), 学会発表について, 以下の要領で記載して下さい。

- 1 用紙は, A4版, 横書き, ワードプロで清書とし, 以下に示した要領で記載して下さい。
なお, 読みやすい形式で記入して下さい。
- 2 著書, 原著, 症例報告, 総説, letter, 学会発表はそれぞれ発表年代順に1, 2, 3, ……の番号を付記し, 「応募者名」と「雑誌名・著書名」にアンダーラインをつけてください。
なお, どの業績が著書, 著書, 原著, 症例報告, 総説, letterであるのか項目を分けるなどして区別をお願いします。
また, 著書, 原著, 症例報告, 総説に関しては欧文, 邦文に分けてまとめてください。
学会発表に関しても国際学会, 国内学会に分けて記入してください。
- 3 原著, 症例報告, 総説, letterについては2022年度版のImpact Factor (IF)とCitation Index (CI) を記載してください (Journal Citation Reports, Web of Science (Clarivate Analytics))。
- 4 欧文論文で応募者が corresponding author の場合は, アスタリスク (*) を, co-first author の場合は, シャープ (#) を付けてください。
- 5 学位論文, 学会賞等受賞論文等については, その旨付記してください。

記 載 要 領

I 著 書

著者名全員(応募者名): 章の表題, 編集者名, 著書名, 第何版, 頁一頁, 発行所, 発行地, 発行年(西暦) 【記載順は任意】

(例) 信州太郎: 消化管の系統発生. 中村一郎, 田中三郎(編), 消化管の発生と分化, pp1-21, 大阪書籍, 大阪, 2006

Shinshu T: Anatomic structure of the gastric mucosa. In: Code CF (ed), Handbook of Physiology, Section 6, Alimentary Canal, Vol II, pp705-741, American Physiological Society, Washington DC, 2006

II 原著, 症例報告, 総説, letter

【原著】

著者名全員(応募者名): 題名, 雑誌名 巻 : 頁一頁, 発行年(西暦) 【記載順は任意】

(例) 信州太郎, 中村一郎, 田中三郎 : 乳癌と他臓器悪性腫瘍の合併例に関する経験と考察.
信州医誌, 43:367-373, 2006

Suzuki S, Shinshu T*あるいは#, Tsuyama S: Cells intermediate between mucous neck cells and chief cells in rat stomach. Cell Tissue Res 233:475-484, 2017 (IF 2.308)(CI 110)

III 学会発表

国際学会はそれぞれ特別講演, シンポジウム, パネルディスカッション, 教育講演, ワークショップ及び一般口演の順に別々に記入して下さい。国内学会は一般口演を除き, 同様に記入して下さい。

ただし, 国際学会及び国内学会ともに, 第一著者として発表したものに限りです。

(例) 特別講演

信州太郎: 「慢性肝炎をめぐって」, 第35回日本医学会総会, 名古屋, 2006

一般口演

Shinshu T, Yoshida S, Suzuki J: "Electron microscopic studies on the postnatal growth of mouse iridocorneal angle", 20th Internat. Congress Electron Microscopy, Toronto, 2006